

第 11 回学生生活調査結果に基づく支援・改善事項の対応状況

工学部・工学研究科

調査項目	支援・改善事項	対応状況(実施結果)
健康	◎一気呑みをしない、させない。	前期、後期オリエンテーションにて厳重に伝えた。
	◎麻薬・薬物使用禁止とリスク教育の徹底。	前期、後期オリエンテーションにて厳重に伝えた。
	・禁煙活動の推進。	前期、後期オリエンテーションにて厳重に伝えるとともに、要所に張り紙などをして徹底につとめている。
キャンパス全般	◎教育施設の充実。	学生の要望に応え、トイレ改修、水飲み場の設置などを実施している。
	・駐車場・駐輪場の改善。	自主的な自転車整理を促すため駐輪場に白線を引いた。
入学・修学	◎修学支援の強化。	保健・医療推進センターとの連携を強め各学科と事務部との情報交換体制を強化している。
	◎大学院研究指導の改善。	複数指導教員制などで改善を図っている。
	・語学教育の改善。	カリキュラムの改善によって充実に努めている。
	・大学院カリキュラムの改善。	改組にあわせて大幅な改善を行っている。
学生相談体制	◎相談体制の充実および周知。	保健・医療推進センターとの連携を強め相談体制の周知広報にも務めている。
	・未成熟な学生への対応。	FD など状況の把握に務め、他大学での取り組みの様子を参考にしながら、教員と保健・医療推進センターとの連携を強めることにより対処している。
進路・就職	◎就職指導と情報提供の充実。	各学科で担当し充実した就職指導と情報提供を行っている。
	・就職支援の充実。	本学の就職支援体制の充実を十分に活用している。

◎は、重点支援項目とする。